

(新) 省CO2型リサイクル高度化設備導入促進事業

900百万円(0百万円)

大臣官房廃棄物・リサイクル対策部企画課リサイクル推進室

1. 事業の必要性・概要

天然資源に乏しく、エネルギー・資源を輸入に頼る我が国では、低炭素・資源循環の統合的アプローチにより、エネルギー・資源を持続可能に生産・消費する社会システムを構築することが極めて重要である。

製品に含まれるレアメタル等の都市鉱山や、プラスチック等の化石燃料由来製品、食品廃棄物等のバイオマス資源等を有効活用することが期待されるが、再生資源回収量を増加させた場合に資源選別や輸送等に伴うCO2排出量の増加が懸念されており、リサイクルの低炭素化と資源効率性の向上を同時に達成する必要がある。

このため、使用済製品等のリサイクルプロセス全体の省CO2化と資源効率性の向上を図る省CO2型リサイクル高度化設備の普及を進めることにより、リサイクルの低炭素化と資源循環を同時に推進し、持続可能な資源循環システムの構築を図る。

2. 事業計画(業務内容)

【補助事業】

自動車、電気・電子機器、容器包装等の使用済製品等のリサイクルプロセス全体を省CO2化すると同時に、再生資源の回収量の増加・質の向上等により資源効率性を高める省CO2型リサイクル高度化設備の導入を推進する。

補助対象：民間団体等

補助割合：省CO2型のリサイクル高度化設備の導入費用(導入に必要な施設改修費用を含む)について、1/2を上限に補助

3. 施策の効果

リサイクルプロセス全体の省CO2化と資源効率性の向上を同時に達成する省CO2型リサイクル高度化設備の導入を推進することにより、エネルギー起源二酸化炭素排出抑制が図られる。また、環境への負荷の少ない循環を基調とする社会経済の実現、資源循環により地域の主体性を最大限に生かした社会経済活動の展開・地域活性化が推進される。オリンピック・パラリンピックの会場等を通じて我が国の優れた環境技術・システムが世界に発信され、我が国循環産業の競争力強化につながる。



省CO2型リサイクル高度化設備導入促進事業

平成27年度予算（案）額 900百万円（新規）

事業目的・概要等

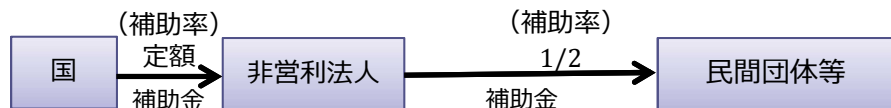
背景・目的

- 環境・生命文明社会の創造に向けて、低炭素・資源循環の統合的アプローチにより、持続可能なエネルギー資源の生産・消費が求められている。
- 天然資源に乏しい我が国では、使用済製品等の都市鉱山等の活用が期待されるが、再生資源回収量の増加等に伴うCO2排出量の増加が懸念されるため、リサイクルの低炭素化と資源効率性向上を同時に進める必要がある。
- このため、本事業において、省CO2型のリサイクル高度化設備導入を進めることにより、使用済製品等のリサイクルプロセス全体の省CO2化と資源循環を同時に推進し、持続可能な資源循環システムの構築を図る。

事業概要

省CO2型のリサイクル高度化設備の導入費用（導入に必要な施設改修費用を含む）について、1/2を上限に補助。

事業スキーム



実施期間：3年間（平成27年度～平成29年度）

期待される効果

- 環境への負荷の少ない循環を基調とする社会経済の実現
- 資源循環により地域の主体性を最大限に生かした社会経済活動の展開・地域活性化
- オリンピック・パラリンピック会場等を通じた我が国の優れた環境技術・システムの国際発信及び循環産業の競争力強化

イメージ

使用済製品等

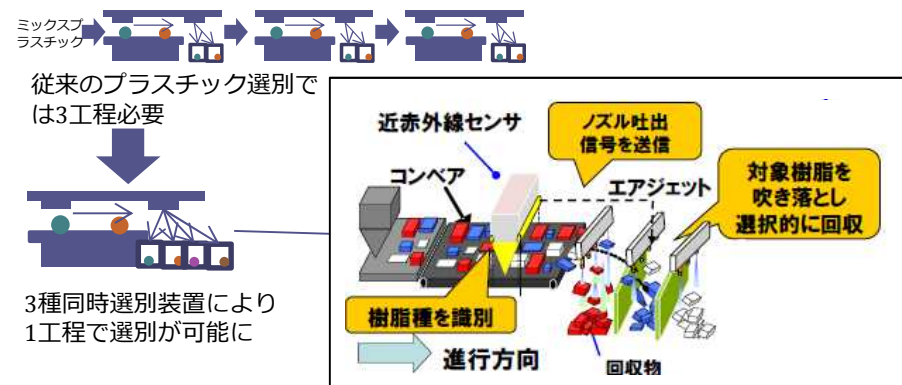


省CO2型リサイクル高度化設備でのリサイクル廃棄製品の分別収集・輸送・破碎・選別・再資源化プロセスの**省CO2化と資源効率性の向上**により**低炭素化と資源循環を同時に推進**

得られた資源は、原材料代替やエネルギー利用され、**製品製造時のCO2削減、コスト削減、資源リスク低減に寄与**

<省CO2型リサイクル高度化設備の例>

プラスチック（樹脂）の3種同時選別装置



家電等を破碎して得られるミックスプラスチックについては、従来は1種選別されていたため、3種同時選別することによりリサイクルの効率性が向上し、**選別プロセスにかかるCO2が約10～50%削減**